

平成30年度 第2回土岐市男女共同参画懇話会 会議録

日時：平成31年1月23日（水）13：00～15：00

会場：土岐市保健センター 4階 第1会議室

発言者	内 容
	議題1 第2次土岐市男女共同参画プランの見直しについて
事務局	さて、委員で交代された方につきましては、前回ご紹介させていただいたところですが、その際ご都合によりご欠席されました委員お二方を、ご紹介をさせていただきます。 民生委員児童委員 林さとみ委員から交代された加藤明宏委員です。 土岐市生活学校 渡邊 曙美委員から交代された山村美千子委員です。 どうぞよろしくお願いいたします。
会 長	それでは議題に入ります。 議題1 第2次土岐市男女共同参画プランの見直しについて 事務局から説明をお願いします。
事務局	議題1について、「第2次土岐市男女共同参画プラン見直し案 修正箇所一覧」に基づき説明
会 長	はじめに確認だけさせていただきます。13ページの基本目標1における数値目標を65%に修正していただくということですが、他と表記を合わせて65.0%ということでしょうか。
事務局	そのように修正いたします。
委 員	同じく、基本目標1についてですが、65%という数値はかなり挑戦的な数値ではないかと思いますが、十分クリアできるとの判断でしょうか。このままいくと達成できない数値ではないかと危惧されますが、いかがでしょうか。
事務局	この項目については、ここ数年数値が右肩上がりになっているわけではありません。市民意識調査の結果なので、調査年によっては変動はあります。しかし、徐々にではありますが数字が上がってきているのも確かです。国の調査でも同様の項目は5割を超える結果が出ているので、まずは65%という高い目標をめがけて市民の意識改革に取り組んでいくという積極的な姿勢を示したいと考えています。
委 員	15ページに「皆さんも取り組んでみませんか」という欄の項目中に、「女性の人材育成についても積極的に進めましょう。」とありますが、人材育成が求められるのは女性に限った話ではないはずですが、少し、書き方が引っかかりを感じてしまいました。
事務局	この部分については皆さんの意見を聞きながら文言の修正を図っていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。
委 員	女性という言葉を取り除くか、女性「の」を「も」に変えるなどして、男女どちらも人材育成が必要ということを表していきたいですね。
会 長	人材育成そのものについては企業も取り組んでいると思いますので、男性と女性と並び立つような表現があるといいですね。

発言者	内 容
事務局	これまで女性の登用や女性に対する研修といった部分で、取り組みが立ち遅れてきた現実があり、この項目は、市民間企業もそういう理解の上で機会をたくさん作りましょうと呼びかけてきた意味合いが強いものです。平成28年に男女共同参画プランの基本目標2を女性活躍推進計画として位置づけたこともあって、この章自体が女性の活躍を進めていく、女性というものに焦点を当てた内容になっています。
委員	前回の話題の女性の町内会長や防災士を増やしましょうという議論と合ってくるので、ここの表現が気に入っていました。人によっていろいろな印象を持たれる部分だなあと思います。
事務局	確かに女性が取り上げられることによって、逆に男性に対して何もしていないんじゃないかと思われるところがあり、また逆差別ではないかという意見があったりするのは確かです。男性に対して人材育成をしないという事ではないので、この部分については表現を工夫したいと思います。
委員	でも、町内会長も防災士も圧倒的に男性が多いわけです。その現状に対して、女性も入っていいんだと思わせてくれるような表現になっていると思いますが、それを逆差別と思うのでしょうか。
事務局	文章の流れとして、まず、「女性を管理職に登用しましょう」ということが先に書かれています。やはり女性の管理職が少ないということは客観的事実としてあり、社会の中で女性が主体となって活躍する場が少ないわけです。そうしたことを勘案すると、男性については豊富な人材育成の場が用意されていて、女性はそういった機会が少ないと考えられます。だから女性の人材育成について「も」力を入れましょうということであり、ここに「男性と同様に」という言葉が隠れています。そういう意味合いの表現なのかなと思います。
委員	土岐市は女性の管理職が非常に少ないとお聞きしていますが、何年か前に瑞浪市役所を訪れた際、女性の管理職が非常に多いことに驚きました。そのことを市の職員の方にお伝えしたところ、女性の人材育成がされていないから相応の年齢になっても管理職のポストの仕事ができないというニュアンスのことをおっしゃったので、そういうことだったのかと納得したことを覚えています。女性の人材育成をぜひ力を入れてもらいたいという意味で、この表現がいいなと思いました。
委員	前回のお話の中で、管理職になりたくない女性が多かったということをお聞きしました。なりたくない方の気持ちを引っ張り上げるために何が必要なのでしょうか。
事務局	市では今、イクボス研修という取り組みをしています。その中で感じたことですが、なぜ女性が管理職など重い役職に就くことをためらうのか、ためらわざるを得ないのかということを見ると、女性は家に帰り家事をし子育てをし、場合によっては介護もあるというように、家庭生活のすべてをたった一人でこなしているという現状があります。女性自身の職場がそれぞれの事情に応じてキャリア形成を図れるよう配慮すべきということはもちろんなのですが、夫の職場に問題があるのではないかとことも考えられます。夫が積極的に家事を分担できるような、そういう形でないと根本的な解決にはならないのではないかと思います。社会全体として、女性が一人で抱え込まざるを得ない状況を変えていく必要があるのではないのでしょうか。
委員	男女平等と男女共同参画の意味の違いってなんだろうと思ったことがあり、調べてみました。似たような2つの言葉ですが、平等というのは権利を伴うもので共同参画は「やりたい人がやりたいことをやる」ということのように思います。私が働いていた会社では、独身の女性は管理職に就きやすい状況にあったように感じます。独身女性は周囲を取り巻くしぐらみが少ないので、自分で進んで学ぶことができます。管理職に就こうとする人はかなりの勉強をする必要がありますが、結婚し、子育てをされる女性は勉強をする時間を確保することも難しいようです。意欲のある人が望んだキャリアを築いていけるようにすることは実際のところ難しいなと感じることはありました。今議論になっているこの部分に関しては、私は人材育成という言葉に引っかかりを感じました。育成「される」ものではないと思うのですがいかがでしょうか。

発言者	内 容
会 長	<p>復職される方がどのようにキャリアを積まれるかということ、昔は家事や育児に配慮した働き方を上司が与えるということが一般的で、それが働きやすさというふう考えられていたのですが、最近は少し変わってきていて、本人がどうしたいかということ踏まえてキャリア設計をしないといけないという風になってきています。子育てが大変だろうだからこの仕事はさせないでおこう、早く帰らないといけないだろうからこのチームから外しておこう、その方が彼女にとっていいだろうというように考えて人材育成が行われてきましたが、中にはそういった配慮が不必要だという方もいるわけです。最近では、過度に配慮するのではなくて、本人が何を希望しているかをしっかりと話し合っ、チャレンジングな仕事を与えましょう、それによって子育てをしながらでもきちんと能力を高めていきましようという方向に変わってきているので、そういった考え方の変化もここに取り入れてもいいのかもしれないですね。繰り返しになりますが、今後は一方的に人材育成してあげるということではなくて、本人がどう望んでいるのかを把握した上で、希望するのであれば将来につながるような重要な仕事を任せてあげることが必要になってきます。そのあたりの視点をこの中に入れることができれば人材育成というところの今までと違った見方につながっていくのではないかなと思いました。</p> <p>見直しにあたっては、人材育成がこれまでどうだったのかということをおさらいしておく必要もあるのかなと思いますが、この目標を掲げてから現在までに人材育成が十分に果たされているのかどうかを見直して、不十分だとすれば何らかの形でもう一度きちんと掲げておく必要があるのではないかと思います。</p>
事 務 局	<p>市役所ではどうだったかということを見ると、会長がおっしゃったように、過度な配慮がというところまでではないにせよ、市民と意見がぶつかるような部署に女性が就くということは避けられてきたように思います。また、岐阜県でも女性の登用が進められてきていますが、多くが庶務等の係長に就くことが多いようです。それによって男性が就くことのできるポストが限られてきて、また女性は特定の職種にのみ集中する、というように配慮がかえって裏目になるような事態が生じてきているようです。市でも多少なりとも同様のことが起きているのではないかと感じています。</p>
会 長	<p>ここの項目については、今の議論を踏まえつつ、事務局で検討いただくということによろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>職場については本人の希望によってキャリア設計をすべきということで、本院の意識に問いかけるような形に捉えなおした上で、項目を一つ二つこちらで作成したいと思います。</p>
委 員	<p>このプランが完成した後はどなたかに配布するのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>ホームページに掲載したり、広報で策定をお知らせし、概要版を掲載するなどを予定しています。</p>
委 員	<p>全部読んで理解するのは難しく、例えばこういうことを学校でも教えるのであれば、簡単に噛み砕いたものが必要ではないかと思います。そういったものがあるとこのプランもすぐ役に立つものにできるのではないかと思います。</p>
事 務 局	<p>プランをどのような形で市民の皆さんにお伝えするかというのは、市としても課題に感じているところで、先ほど広報という話題が出ましたけれども、1日号の特集ページをご覧になっている方は非常に多いということがアンケート上の結果でも出ております。コラムの掲載ページ以外にも特集という形も含めて様々な方法で周知・啓発していくことを検討したいと考えています。</p>
委 員	<p>学校に関しましてはいろいろな形で啓発が進んでいるので、男女共同参画については理解が非常に深まっているのではないかと思います。</p>

発言者	内 容
委員	デートDVについて中学生を対象に学習されたそうですが、お子さんたちはすごく興味深く話に耳を傾けていたということ伺いました。また、保護者の方も非常に興味を持って下さったようで、そういう意味で男女共同参画社会の実現に向けた未来は明るいと思っています。また、図書館では若い人に向けた書籍が増えていて、それがすごいわかりやすいんです。若い人たちはどんどんこういったものに目を通して理解を深めていかれると思うので、私たちも負けないようにがんばりたいなと思います。
会長	男女共同参画の実施事業の中に、広報紙やホームページへの掲載による啓発といったところが挙がっていますので、そのあたりを工夫して取り組んでいただければと思います。お話を聞いていると、小学生には小学生向け、中学生には中学生向けの取り組みをされているので、それぞれに対してのメッセージは伝わりやすいのですが、どうしてもホームページは一般市民向けということになってしまうため難しくなりがちで、なかなか目を通そうという気になれないところもあるかと思っています。そういう点ではコラムのような企画というのは非常に有効的だと思いますので、そういうようなやり方も含めて、どうしたら市民の方に波及していくかを工夫していけるといいですね。
事務局	昨年女性連絡協議会の企画で、岐阜市の女性自治会長をお呼びして講演会をされたことがありました。その女性は地域の生活者として、介護のことも子育てのことも男性より詳しくて、自治会はやはり女性が担った方がいいのかもしれないと思えるような講演でした。今後女性に地域の代表を担ってもらえるように、こういう講演会を市としても積極的に実施したいと思いました。
事務局	議題1を終える前に一点だけお伝えします。前回、施策の進捗状況報告の中で、学校の道徳の授業は35時間すべてが男女共同参画に則した内容ではないといったことや、学校の職員も市と同様に早く帰宅する日を設けていることなどの指摘をいただきました。これを受けて、来年度以降の報告においては前年からの継続事項の報告だけに留まらず、その内容が男女共同参画の実現に有効か否かの検討や、現在項目として挙がっていないけれども取り組んでいる実績のあるものについては、項目を追加して報告するよう求めていきたいと考えています。
	議題2 その他
事務局	今後の男女共同参画プランの改定に向けたスケジュールですが、今後この計画案をパブリックコメントにかけます。その後パブリックコメントでいただいた意見と皆様からいただいた宿題を検討する第3回の懇話会を開催したいと考えています。そこで最終的な修正案を作成し、改訂版として公表する予定をしています。
事務局	続いて、広報紙面でも啓発についてのご相談ですが、現在連載している「男と女のいきいきコラム」については平成17年ごろから継続しており、また今年度は委員の皆様にも執筆にご協力いただきました。市では、今後この紙面の活用方法について、コラム掲載の是非も含めて再考しているところです。これまでは直接的な情報の提供というよりは、日常の一コマ一コマで現れる男女共同参画のトピックスを取り上げながらコラムという形でお伝えしてきたわけですが、市としてどんな取り組みをしているのか、また市がどんな状況にあるのかということの詳細にお伝えすることができていませんでした。こういったことを情報としてきちんと市民の皆様にお伝えする必要があるのではないかと考えています。また、市内には「岐阜で活躍する女性」として登録された方や「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」に認定された企業などがあり、そういった方や企業を紹介することで、女性や企業に対する啓発につなげていくことができるのではと思います。これらはコラムと並行して掲載するなどして、いろいろな形でこの枠を活用できればと考えていますがいかがでしょうか。
委員	活躍する女性という話がありましたが、学校では生徒会長が女の子であったり、応援団長も女の子が務めたところがあったりします。また、少年少女合唱団では多くの女の子が頑張っています。また、民生委員では女性の会長が2人いらっしゃいます。主任児童委員は18人中16人が女性です。そういったところも紹介してもらえるといいのかなと思います。
委員	確かに、下石町は民生委員の会長が女性で、今度市の会長に就任されると聞いています。

発言者	内 容
委員	市内に活躍する女性が増えて喜ばしいですね。そういった方の紹介はいいことだと思います。一方で、コラムの掲載も大事です。いろんな形で伝えてもらえればと思います。
委員	以前コラムでセクハラについて書かれたものがありましたが、コラムだからこそわかりやすい話題とかあると思います。きちんと伝える必要があるものとバランスをとって掲載してもらえればと思います。
会長	いろいろな角度からアプローチするということですね。しっかりと情報を伝えつつ、間口を広くとって、読んでいる方にちょっとした気づきを持ってもらえるような紙面づくりができるといいと思います。 議題についてはこれにて終了となります。今日は皆さんからたくさんの意見をいただき、今後につながるお話ができたように思います。それでは振興を事務局にお返しします。
事務局	本日は長時間に渡る会議の中、活発なご意見をいただきありがとうございました。 これにて閉会とさせていただきます。